

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副議長	局 長	副主幹	主 査	担 当	担 当	文書取扱主任		

第 25 回 総 務 文 教 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日		平成 25 年 8 月 12 日（月曜日）		開会 10 時 00 分		閉会 10 時 21 分	
開催場所		第一委員会室					
出席委員		大谷、井上、渡辺精郎、水口、渡邊龍之、柴田				事務局	菊井事務局長
		委員外～木下					和田副主幹
欠席委員		なし					原田主事
説明員		別紙のとおり					
議 件		別紙のとおり					
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について						
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。						
	(1) 平成 25 年度一般会計補正予算について						
	2. その他について						
	・道外視察について 10 月 9 日の武雄市、11 日の秦野市の行政視察に所管職員も同行する						
	ことを確認した。						
	3. 次回委員会の日程について						
	8 月 30 日（金）13 時 30 分から第一委員会室で開催することとした。						
	上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 総 務 文 教 常 任 委 員 長 大 谷 久 美 子 ㊤						

平成25年8月6日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長
滝川市教育委員会委員長

前 田 康 吉
若 松 重 義

総務文教常任委員会への説明員の出席について

平成25年8月5日付け滝議第78号で通知がありました総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市教育委員会委員長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育部長	舘 敏 弘
教育部学校教育課長	高 田 和 昌
教育部滝川西高等学校事務局事務長	法 村 幸 子
教育部滝川西高等学校事務局主査	押 山 千 春

(総務部総務課総務グループ)

第25回 総務文教常任委員会

H25.8.12(月) 午前10時00分
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶(委員動静)

1. 所管からの報告事項について
《教育部》

(1) 平成25年度一般会計補正予算について

(資料) 滝川西高事務局

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

8月30日(金) 13時30分 第一委員会室

○ 閉 会

第25回 総務文教常任委員会

H25. 8. 12(月)10:00～

第 一 委 員 会 室

開 会 10:00

委 員 長 それでは、第25回総務文教常任委員会を開催いたします。
よろしくお願いいたします。

委員動静報告

委 員 長 きょうの委員動静でございますが、委員は全員出席、委員外議員として木下議員の出席を許可します。

1. 所管からの報告事項について

委 員 長 1、所管からの報告事項について、(1)平成25年度一般会計補正予算について説明をお願いいたします。

(1) 平成25年度一般会計補正予算について

館 部 長 皆さん、おはようございます。このたび滝川西高軟式野球部がご承知のとおり全国高等学校軟式野球選手権大会の全道大会で3年ぶり3度目の優勝をしました。市民挙げて喜んでいるところでございます。来る19日、補正予算を計上したいということから、皆さんに急遽総務文教常任委員会を開催していただいたこと、冒頭でお礼申し上げたいと思います。

3年ぶり3度目ということでございます。内容等精査をいたしまして、出場する協賛会が立ち上がったところでございますが、補助支援の要請もございましたところ、私どもも検討を申し上げ、今回議会で補正予算として計上したいと考えているところでございます。

詳細につきましては、法村事務長から説明をさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

法村事務長 (別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長 まずは、西高の軟式野球、全国大会出場おめでとうございます。

それでは、ただいま説明がありましたけれども、質疑ありますか。議案関連でするので、ご留意願います。

渡 邊 おめでとうございますの一言から始めたいと思いますけれども、今370万円協賛会で残があるという説明がありました。一応新聞では、800万円という総額経費がプレスには出ていたのですけれども、旅費がそうやって補助があるとなると、実際かかるという支出の部分で何が大きいのか伺います。

それと、こうやって全国大会に出るというのは、本当にスポーツ都市として滝川をPRする上では必要なことだと思うので、教育部長がいますので、ほかの関連で、全国大会という捉え方をどういうふうに持っているのか聞かせてください。

法村事務長 費用の部分で大きい支出の部分ということですが、遠征費としまして選手の26名分の部分では360万円ほどかかるのですが、高野連の補助金からは170万円ほどしか出ないのです。その部分で差が出ます。それとあと、生徒の応援費用の部分が丸々持ち出しになるものですから、そういう部分を賄うためにも市の補助金100万円をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

館 部 長 全国大会、これに類似するような補助金ということもご説明申し上げますが、軟式野球、今回3回目でございますが、毎回100万円をお願いして100万円支出

ということでご議決をいただいているところでございます。ちなみに、甲子園、西高の硬式については、市から500万円の補助金を出させていただいているところでございます。これにつきましては、野球の場合ご承知のとおり、軟式の場合は会場が2会場ということで分けておりまして、甲子園ほど日程はそんなに掛からないかもしれませんが、ほかの部活と比べますとやはり日程については長いスパンで大会が開催されるということがございます。

また、今回は先ほど説明をさせていただきましたけれども、旅費の18名分の2分の1だったものが復活して、その部分についてはおおよそ70万円、前回でいけば70万円ぐらい高野連の補助が出るということで、宿泊費については昔は全額出ていたのですけれども、今は3,000円の補助ということで、大体大会の指定宿泊料が8,500円ということでやはり5,500円負担しなければいけないということ、それから大会の前日からその当該校の試合終了の翌日までという部分で補助が高野連から出るのですけれども、実は3日前に入ってきてちゃんと練習をしてというのが、気候だとかそういった環境になれるために3日前に入というのが通例でございますので、その分の差額は丸まんま自分たちで支払わなければいけないということもあります。高野連の旅費の2分の1が復活したとしても、やはり相当なお金がかかっていくという部分がございます。

それで、話は戻りますけれども、基本的には甲子園の硬式野球、軟式野球、これについてはやはり多額のお金がかかると、それから日程も定まらないという部分もございますので、やはり割高になるという部分もございますけれども、そういった部分でこれについては現在のところ硬式野球と軟式野球と、ということでプラスの補助という形でやっているところでございます。ご承知のとおり通常は全国大会1人1万円という計算のルールがありますので、基本的にはそのルールにのっとっていきたくは思っていますけれども、この2つについてはやはりケース・バイ・ケースということで考えているところでございます。ただ、今後例えばサッカーが全道大会優勝するということになれば、それに近いお金、どれぐらいのお金がかかるか、ちょっと私個人的にはわかりませんが、そういった部分も検討していかなければならないのかなと思っています。西高の場合は、通常は体育文化振興基金ということで振興費というものがございます、これはほかの滝川高校も工業高校もございますけれども、保護者から月2,000円をいただいております。20年の大会は、やはりその予定していた予算よりかかって決算的には赤字になって追加で保護者からいただいたという経過もございます。

以上です。

委員長

ほかに質疑ありますか。

副委員長

応援団は、何かいろいろ予定されているのですか。議会だとか、市長だとか、何かそういうのは考えられているのか伺います。

館部長

先ほどお話ししました部員が38名いるということで、2班に分かれまして26名は選手として派遣したいと、残りは応援団ということで、一般の部分については野球部の保護者は前回もやはり20名から30名ぐらい行っておりますし、あと教育長も勝ち上がったときに行っております。前々回ベストフォーということでございます。ほかについては、まだ未定ですので、これからでございます。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

なければ、報告済みといたします。

2. その他について

委員長

2、その他についてですが、机上に道外視察の日程表が配付されております。この前打ち合わせしたのをもとに新しく計画を立てていただいておりますので、ちょっと部分的に時間が違うところもありますが、日程は同じですので、前のものにつけ加えて詳しく見ておいていただきたいと思います。

それと、図書館の視察についてなのですが、図書館の深村主査が、8日出発の時点で一緒に出発して、9日、2日目の武雄市での図書館の視察に一緒に行くと、そのようになっておりますので、ご承知いただきたいと思います。それから、秦野市のほうはまだどなたが一緒に行くかという部分については決定されていないということで聞いておりますが、ストックマネジメント推進課の職員が一緒に視察に行くと言っておりますので、そのようにご承知おきください。

若干休憩します。

休 憩 10 : 15

再 開 10 : 20

委員長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

ほかに委員から何かありますか。

(なしの声あり)

事務局から何かありますか。

(なしの声あり)

3. 次回委員会の日程について

委員長

3、次回委員会の日程について、次回は8月30日金曜日1時半から第一委員会室で開催いたします。

委員長

以上で第25回総務文教常任委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

閉 会 10 : 21